

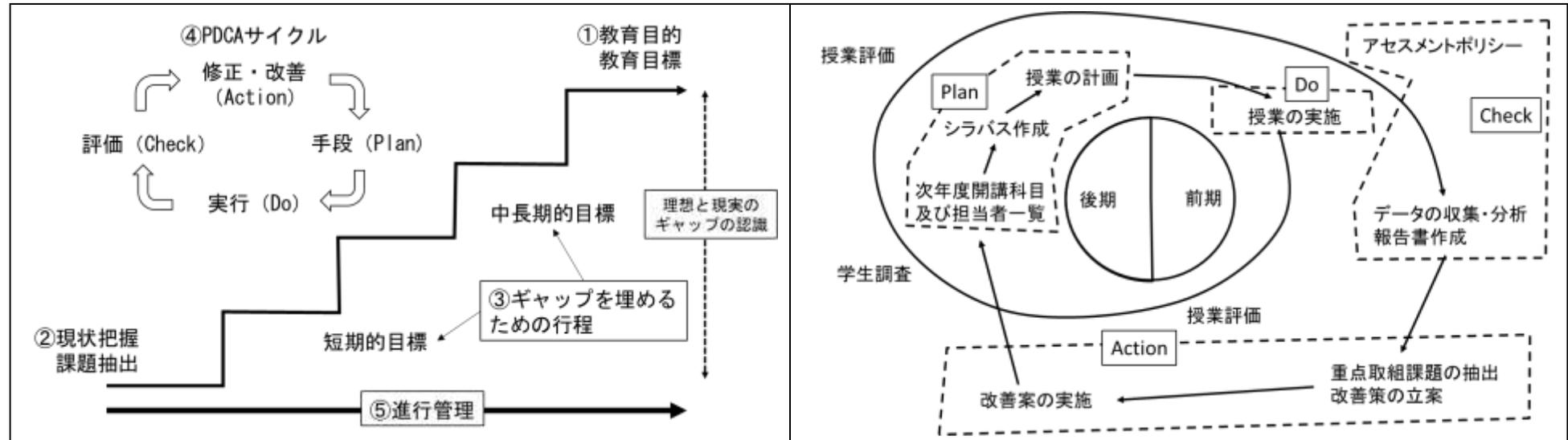
「3つのポリシー」に関するアセスメントポリシー（2020 年度版）

教学マネジメント委員会

1. 目的

- 本ポリシーは、本学の「3つのポリシー」を実質化するための方策を定めるものである。
- その方策は、①「3つのポリシー」を検証する視点
 - ②検証の根拠となる各種データを組織的に収集・蓄積・分析する具体的手順
 - ③検証に基づいて重点取り組み課題を抽出し、次年度の教育改善に生かすことによって PDCA サイクルを回すための年間スケジュールで構成する。

2. 教学マネジメントと PDCA サイクルのイメージ



- 教学マネジメントには、①教育目的、教育目標、②現状把握、課題抽出、③教育目的・教育目標と現状のギャップを埋める行程、④PDCA サイクル、⑤進行管理の5つの要素がある。
- 大学教育のPDCAサイクルの特徴は、今年度の「Do」が半分進行した状態で、次年度の「Plan」を立てる必要がある点である。そのため今年度の取組状況を「Check」した上で次年度の「Plan」を立てることができない。
- これを解決するために、前年度の取組のデータに基づいて「Check」を行い、その結果を次年度の「Plan」作成に反映させる。

4. DP・CPの検証

(1) DP・CPを検証する視点

<ul style="list-style-type: none"> ・DP・CPは、教育理念、教育目的、教育目標を踏まえて策定・公表・周知しているか？ ・DP・CPに基づく教学の管理・運営体制は適切か？ ・DP・CPに基づいた教育を実施しているか？ ・主観的及び客観的学習成果の到達度を適切に評価できているか？ ・在学生の満足度を適切に評価できているか？

(2) DP・CP検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	根拠データ
DP、CPの策定・公表・周知	<input type="checkbox"/> DP・CPを策定している。 <input type="checkbox"/> DPは、各学部・学科の教育目標を具体的能力として適切に表現している。 <input type="checkbox"/> CPは、DPと整合性がとれている。 <input type="checkbox"/> DP・CPを公表している。 <input type="checkbox"/> DP・CPを在学生に周知している。	DP、CP 教育目的、教育目標（昨年度見直し済み） ナンバリング（DPとCPの整合性） ホームページ、大学案内パンフ、キャンパスガイド 学生調査
管理・運営体制	<input type="checkbox"/> 教学マネジメント委員会に学外者及び学生が参加している。 <input type="checkbox"/> 教学マネジメント委員会を年2回開催している。 <input type="checkbox"/> 履修単位上限を設定している。（キャップ制） <input type="checkbox"/> GPAを履修指導に活用している。	教学マネジメント委員会規程、 教学マネジメント委員会議事録 キャンパスガイド、各種関連規程 履修指導の実績
教育の実施	<input type="checkbox"/> 全開講科目のシラバスを作成し、公表している。 <input type="checkbox"/> シラバスの内容をチェックし、改善のための指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 教員は、シラバスに基づいて授業を実施している。 <input type="checkbox"/> 教員は、適切な授業改善の手立てを実施している。	シラバス シラバスチェック体制と指導実績（記録） 授業評価（シラバス、授業運営、教員に関する質問）
主観的学習成果（到達度、満足度）	<input type="checkbox"/> 学生は、主体的に学習している。 <input type="checkbox"/> 学生は、十分な学習時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 学生は、自己の成長を実感している。 <input type="checkbox"/> 学生は、自己の学習成果に満足している。	学生調査（主体的学習行動に関する質問） 学生調査（学習時間に関する質問） 学生調査（主観的学習成果に関する質問） 学生調査（満足度に関する質問）
客観的学修成果到達度	<input type="checkbox"/> 学生は、DPで想定している能力を身に付けている。 <input type="checkbox"/> 教員は、適切な成績評価を実施している。	学科別・学年別の留年率 学科別学習到達度測定ツールの開発 成績評価（全体の秀、優、良、可、不可の分布）

5. AP の検証

(1) AP を検証する視点

- ・ AP は、教育目標、DP、CP に基づき、受け入れる学生に求める学習成果（学力の 3 要素）を明示しているか？
- ・ 選抜方法は、高等学校の学習成果（学力の 3 要素）を適切に評価しているか？
- ・ すべての入学予定者に、入学前教育を実施しているか？
- ・ 選抜方法と入学後の学習行動や学習成果（学習到達度）との関係を検証しているか？

(2) AP 検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	根拠データ
AP の策定・公表	<input type="checkbox"/> AP は、DP に記載している能力を身に付ける前提として求める <u>学習成果を明示</u> している。 <input type="checkbox"/> 学習成果は、「 <u>学力の 3 要素</u> 」に対応している。 <input type="checkbox"/> AP を、 <u>公表</u> している。	AP、DP、CP
選抜方法	<input type="checkbox"/> 多様な背景を持つ学生の受け入れる入試区分を設けている。 <input type="checkbox"/> 各入試区分の選抜方法は、「 <u>学力の 3 要素</u> 」を多面的に評価する選考方法を採用している。	募集要項 入試区分別 志願者数、合格者数、入学者数
採点基準	<input type="checkbox"/> 採点基準（ルーブリックなど）を作成している。 <input type="checkbox"/> 採点基準は、各選考方法に対応する学力の到達度（学習成果）を評価するものになっている。 <input type="checkbox"/> 採点者による極端なバラツキや偏りが無い。	入試問題 採点基準 得点分布
入学前教育	<input type="checkbox"/> すべての入試区分で、入学予定者に対して入学前教育を実施している。 <input type="checkbox"/> すべての入試区分で、入学前教育の課題の提出を義務付けている。	入学前教育（課題、配布資料、提出状況）
入学後の追跡調査	<input type="checkbox"/> 入試区分別に、休学・留年・退学の動向を把握している。 <input type="checkbox"/> 入試区分別に、学年進行に伴う GPA の推移を把握している。	休学者数・留年者数・退学者数（入試区分別、学科別、学年別） GPA の推移（入試区分別、学科別、学年別）
卒業後の追跡調査	<input type="checkbox"/> 卒業生の動向を把握している。	就職率 卒業生調査 就職先調査

6. 2020年度年間スケジュール

- (1) 5月 第1回教学マネジメント委員会の開催
 - ・2020年度版アセスメントポリシーの策定

- (2) 5～6月 IR部門によるデータの収集、各種調査の実施、分析
 - 重点取組課題の抽出
 - アセスメント報告書（案）の作成

- (3) 7月 学生・学外者が参加した教学マネジメント委員会開催

- (4) 9～3月 実施可能な改善策の立案・実施

以上